

外国語のカタカナ表記はもともと無理を伴うのですが、ラテン語は英語のような曖昧母音がない点で、比較的カタカナ表記に適しています。

日本語にはない、母音を伴わない「子音だけ」、は、d, f, g, k, l, m, p, r, s, t などとしました。同じ意味での n だけは対応する日本語表記「ン」がありますので、「ン」としました。

正確を期するほど難しい表記になりますがご勘弁ください。

日本語にはない、「R」と「L」の識別には、母音を伴う場合対応しておりません。

I. Kyrie	【1. キリエ】
Kyrie eleison. Christe eleison. Kyrie eleison.	キリエ エレイソン. クリステ エレイソン. キリエ エレイソン.
II. Gloria	【2. グローリア】
Gloria in excelsis Deo.	gロリア イン エクシエルシs デオ
Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.	Et イン テッラ パk s オミニブs ボネ ヴォルンタティs
Laudamus te. Benedicimus te.	ラウドムs テ. ベネディチムs テ.
Adoramus te. Glorificamus te.	アドラムs テ. gロリフィカムs テ.
Gratias agimus tibi	gラツィアs アジムs ティビ
propter magnam gloriam tuam.	pロプテr マニヤm gロリアm トゥアm
Domine Deus, Rex caelestis,	ドミネ デウス レk s チェレスティs,
Deus Pater omnipotens.	デウス パテr オmニポテンs
Domine Fili unigenite, Jesu Christe.	ドミネ フィリ ウニジェニテ イエス クリステ
Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.	ドミネ デウス アニユs デイ フィリウス パtリス
Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.	クイ トリス ペッカタ ムンディ ミセレレ ノビス
Qui tollis peccata mundi,	クイ トリス ペッカタ ムンディ
suscipe deprecationem nostram.	スシペ デプレカツィオネm ノstram
Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.	クィ セデs アd デk sテラム パtリス ミセレレ ノビス
Quoniam tu solus sanctus,	クオニアm トゥ ソルス サンクトゥs
Tu solus Dominus.	トゥ ソルス ドミヌs
Tu solus Altissimus, Jesu Christe.	トゥ ソルス アルティッシムs イエス クリステ
Cum sancto Spiritu, in gloria Dei Patris,	クm サンクト sピリトゥ イン gロリア デイ パtリス
Amen.	アーメン
III. Credo	【3. クレド】
Credo in unum Deum, Patrem omnipotentem.	クレド イン ウヌm デウム パtレm オmニポテンテム
factorem caeli et terrae,	ファクトレム チェリ Et テッレ
visibilium omnium et invisibilium,	ヴィスイビリウム オmニウム Et インヴィスイビリウム
Et in unum Dominum Jesum Christum,	Et イン ウヌm ドミヌm イエスム クリстуm
Filium Dei unigenitum.	フィリウム デイ ウニジェニトゥm
Et ex Patre natum ante omnia saecula.	Et Ek s パtレ ナトゥm アンテ オmニア セクラ
Deum de Deo, lumen de lumine,	デウム デ デオ ルメン デ ルミネ

Deum verum de Deo vero.
Genitum, non factum, consubstantialem Patri:
per quem omnia facta sunt.
Qui propter nos homines,
et propter nostram salutem descendit de caelis.
Et incarnatus est de Spiritu Sancto
ex Maria Virgine:
Et homo factus est.

デウム ヴェルム デ デオ ヴェロ
ジェニトゥム ノン ファクトゥム コンspスタントゥィアレム パトリ
ペル クエム オムニア ファクタ スント
クィ プロプテール ノス オミネス
エト プロプテール ノストラム サルテム デシェンディット デ チェリス
エト インカルナトゥス エスト デスピリトゥ サンクト
エクス マリア ヴィルジネ
エト オモ ファクトゥス エスト

Crucifixus etiam pro nobis:
sub Pontio Pilato passus, et sepultus est.
Et resurrexit tertia die,
secundum Scripturas.
Et ascendit in caelum:
sedet ad dexteram Patris.
Et iterum venturus est cum gloria iudicare
vivos et mortuos:
cujus regni non erit finis.

クルチフィクス エツィアム プロ ノビス
スツ ポントゥィオ ピラト パッス エト セプルトゥス エスト
エト レスレクスイット テルツィア ディエ
セクンドゥム スクリプトゥラス
エト アシェンディット イン チェルム
セデット アド デクステラム パトリス
エト イテルム ヴェントゥルス エスト クム グロリア ユディカレ
ヴィヴオス エト モルトゥオス
クウス レニ ノン エリット フィニス

Et in Spiritum sanctum Dominum,
et vivificantem:
qui ex Patre, Filioque procedit.
Qui cum Patre, et Filio simul adoratur,
et conglorificatur:
qui locutus est per Prophetas.
Et unam sanctam catholicam
et apostolicam Ecclesiam.
Confiteor unum baptisma
in remissionem peccatorum.
Et exspecto resurrectionem mortuorum.
Et vitam venturi saeculi.
Amen.

エト イン スピリトゥム サンクトゥム ドミヌム
エト ヴィヴィフィカンテム
クィ エクス パトレ フィリオクエ プロチエディット
クィ クム パトレ エト フィリオ スィムル アドラトゥール
エト コングルリフィカトゥール
クィ ロクトゥス エスト ペル プロフェタス
エト ウナム サンクタム カトリカム
エト アポストリカム エックレスィアム
コンフィテオール ウヌム バプティスマ
イン レミッスィオネム ペッカトルム
エト エクスペクト レスレクツィオネム モルトゥオルム
エト ヴィタム ヴェントゥリ セクリ
アーメン

IV. Sanctus

Sanctus, sanctus, sanctus
Dominus Deus Sabaoth.

サンクトゥス, サンクトゥス, サンクトゥス,
ドミヌス デウス サバオト

Pleni sunt caeli, et terra gloria tua.
Hosanna in excelsis.

プレニ スント チェリ エト テッラ グロリア トゥア
オサンナ イン エクシエルシス

V. Benedictus

Benedictus qui venit in nomine Domini.
Hosanna in excelsis.

ベネディクトゥス クィ ヴェニット イン ノミネ ドミニ
オサンナ イン エクシエルシス

VI. Agnus Dei

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:

miserere nobis.

Dona nobis pacem.

アニユs デイ クイ トリス ペッカタ ムンディ

ミセレレ ノビス

ドナ ノビス パチェm

hominibus, homo, Sabaoth などの「h」は発音しません。Sabaoth は「Sabaot」の発音になります。

Jesu などの「j」は「i」の発音の子音と考えてください。

Qui などの「qu」は「kw」の発音記号で書かれますが、実際「ku」の発音の子音と考えてください。

consubstantialem, sub Pontio Pilato の「b」は、その後続く無声子音の影響を受けて同化作用をおこし、

ほとんど「p」に近くなった音になります。（Neues Liederschatz I の解説より）